



2026年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2026年1月9日

上場会社名 株式会社セイヒョー 上場取引所 東
コード番号 2872 URL <https://www.seihyo.co.jp/>
代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 飯塚 周一
問合せ先責任者(役職名) 取締役管理部長 (氏名) 安藤 力 (TEL) (025) 386-9988
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年2月期第3四半期の業績(2025年3月1日~2025年11月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年2月期第3四半期	3,888	0.3	105	△47.7	121	△44.8	75	△55.5
2025年2月期第3四半期	3,875	11.0	201	173.1	219	174.0	169	175.8

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年2月期第3四半期	53.94	—
2025年2月期第3四半期	121.82	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年2月期第3四半期	3,800	1,527	40.2
2025年2月期	3,289	1,395	42.4

(参考) 自己資本 2026年2月期第3四半期 1,527百万円 2025年2月期 1,395百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年2月期	—	—	—	18.00	18.00
2026年2月期	—	—	—	—	—
2026年2月期(予想)	—	—	—	18.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年2月期の業績予想(2025年3月1日~2026年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,700	4.8	10	△89.6	26	△78.8	31	△74.0	22.15

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2026年2月期3Q	1,620,993株	2025年2月期	1,620,993株
2026年2月期3Q	217,648株	2025年2月期	226,198株
2026年2月期3Q	1,399,027株	2025年2月期3Q	1,394,581株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因によって大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページの「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第3四半期累計期間	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等の注記)	7
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の緩やかな改善が続く一方、米国政権による関税政策の影響やウクライナ・中東地域における地政学リスク、国内の物価上昇の長期化等により、依然として先行き不透明な状況が続いております。

国内食品業界においては、原材料価格の高騰や人件費、物流費の上昇に伴う商品価格の値上げが継続的に行われており、消費者の節約志向は依然として強く、今後も厳しい経営環境が続くことが予想されます。

このような状況の中、当社は、厳しい環境の変化に対応するため、「中期経営計画2027」において7つの戦略的推進事項と当社が目指すべき将来像を掲げ、全社一丸となって中期経営計画の達成に取り組んでまいりました。

この取り組みの一環として、2025年8月27日付「固定資産の取得に関するお知らせ」で公表のとおり、2025年10月31日付で森永北陸乳業株式会社富山工場の生産設備を含む資産を取得いたしました。本件は、旺盛な需要に対応するための生産能力増強を目的とした戦略的投資であり、新工場建設に比べて投資額を大幅に抑制しつつ、短期間で供給体制の強化を実現するものです。事業環境等に左右されることなく常に安定的な利益の確保に努める経営戦略と、全社員が自身と会社の成長を実感できる働きがいのある職場環境づくりを両立し、これらを通じてさらなる企業価値向上に取り組んでまいります。

当第3四半期累計期間の売上高は、主力であるアイスクリーム部門において、自社製品のかき氷カップや昨年発売したヨーグルト風味アイスバー、カフェオレ風味アイスバーなどが好調に推移したほか、今年は新たに「Marone(マロネ)」シリーズを発売するなど、新商品の販売にも注力しました。夏季には全国各地で最高気温を更新するなど猛暑日が増加した一方、8月以降は降雨の影響により氷菓の販売が一時的に停滞いたしました。その他、和菓子部門では越後名物「笹だんご」が低調に推移したものの、仕入販売・物流保管部門は概ね堅調に推移いたしました。

損益面については、昨年同様、原材料価格や物流コストの上昇、エネルギーコストの高止まりや人件費の高騰といった製造コストの上昇が続いているほか、運搬保管料等の販管費が増加いたしました。また、富山工場の取得に伴い、稼働開始に向けた設備の改修や試運転に係る費用が発生したことから、一時的にコストが増加いたしました。この結果、売上高は3,888百万円(前年同期比0.3%増)、営業利益は105百万円(前年同期比47.7%減)、経常利益は121百万円(前年同期比44.8%減)、四半期純利益は75百万円(前年同期比55.5%減)となりました。

なお、当社は夏季に集中して需要が発生するため、特に第2四半期会計期間の売上高は、他の四半期会計期間の売上高と比べ著しく高くなる傾向にあります。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期会計期間末における総資産は前事業年度末に比べ511百万円増加し、3,800百万円となりました。これは主に売掛金の増加額100百万円、土地の取得による増加額344百万円、投資有価証券の時価評価による増加額90百万円等によるものであります。

(負債)

当第3四半期会計期間末における負債は前事業年度末に比べ378百万円増加し、2,272百万円となりました。これは主に短期借入金の減少額300百万円、1年内返済予定の長期借入金の増加額103百万円、長期借入金の増加額391百万円等によるものであります。

(純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産は前事業年度末に比べ132百万円増加し、1,527百万円となりました。これは主に利益剰余金の増加額50百万円、その他有価証券評価差額金の増加額61百万円等によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期累計期間における業績動向等を踏まえ、2025年4月11日付「2025年2月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)」にて公表いたしました業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、本日(2026年1月9日)公表の「2026年2月期通期業績予想の修正及び中期経営計画の取り下げに関するお知らせ」をご参照ください。

なお、本資料に記載されている業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後、様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年2月28日)	当第3四半期会計期間 (2025年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	329,432	281,460
売掛金	357,330	457,513
商品及び製品	705,476	643,346
仕掛品	3,711	3,360
原材料及び貯蔵品	127,130	139,450
未収消費税等	23,427	—
その他	44,538	50,302
貸倒引当金	△3,536	△4,509
流動資産合計	1,587,510	1,570,925
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	276,092	287,543
機械及び装置（純額）	273,539	311,106
土地	653,300	998,211
リース資産（純額）	212,910	197,198
建設仮勘定	935	41,140
その他（純額）	76,956	91,945
有形固定資産合計	1,493,734	1,927,145
無形固定資産		
リース資産	417	—
その他	15,498	15,787
無形固定資産合計	15,915	15,787
投資その他の資産		
投資有価証券	115,667	205,936
その他	76,451	80,589
貸倒引当金	△212	△225
投資その他の資産合計	191,905	286,299
固定資産合計	1,701,556	2,229,232
資産合計	3,289,066	3,800,158

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年2月28日)	当第3四半期会計期間 (2025年11月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	376,605	409,293
短期借入金	850,000	550,000
1年内償還予定の社債	20,000	20,000
1年内返済予定の長期借入金	—	103,342
リース債務	35,090	34,594
未払金	92,195	117,215
未払費用	54,396	76,106
未払法人税等	14,479	49,052
未払消費税等	—	24,258
賞与引当金	41,887	70,537
その他	7,592	15,049
流動負債合計	1,492,246	1,469,449
固定負債		
社債	80,000	70,000
長期借入金	—	391,658
リース債務	186,785	172,431
繰延税金負債	5,961	29,115
退職給付引当金	92,620	100,365
資産除去債務	15,124	15,125
その他	21,251	24,240
固定負債合計	401,743	802,935
負債合計	1,893,990	2,272,384
純資産の部		
株主資本		
資本金	417,297	417,297
資本剰余金	225,034	232,900
利益剰余金	1,020,847	1,071,205
自己株式	△331,078	△317,750
株主資本合計	1,332,100	1,403,652
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	62,975	124,121
評価・換算差額等合計	62,975	124,121
純資産合計	1,395,075	1,527,773
負債純資産合計	3,289,066	3,800,158

(2) 四半期損益計算書
第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自2024年3月1日 至2024年11月30日)	当第3四半期累計期間 (自2025年3月1日 至2025年11月30日)
売上高	3,875,980	3,888,714
売上原価	3,081,797	3,122,711
売上総利益	794,183	766,002
販売費及び一般管理費	592,975	660,904
営業利益	201,207	105,097
営業外収益		
受取利息	342	536
受取配当金	1,590	3,180
不動産賃貸料	10,434	10,443
受取手数料	3,347	3,186
設備負担金収入	—	10,041
その他	15,148	4,399
営業外収益合計	30,861	31,786
営業外費用		
支払利息	10,001	12,440
不動産賃貸費用	1,457	1,457
その他	660	1,768
営業外費用合計	12,119	15,665
経常利益	219,950	121,218
特別利益		
固定資産売却益	308	3
特別利益合計	308	3
特別損失		
固定資産除却損	743	285
特別損失合計	743	285
税引前四半期純利益	219,514	120,936
法人税、住民税及び事業税	49,615	51,441
法人税等調整額	—	△5,970
法人税等合計	49,615	45,471
四半期純利益	169,898	75,464

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2025年7月23日付で、取締役（社外取締役及び監査等委員である取締役を除く）、執行役員及び従業員に対する譲渡制限付株式報酬として自己株式の処分を行い、資本剰余金が7,866千円増加、自己株式が13,449千円減少しております。この結果、当第3四半期会計期間末において、資本剰余金が232,900千円、自己株式が317,750千円となっております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

当社は、冷凍食品製造事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年11月30日)	当第3四半期累計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年11月30日)
減価償却費	119,543千円	118,877千円